

2026年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月13日
東

上場会社名 株式会社クラダシ 上場取引所
コード番号 5884 URL <https://corp.kuradashi.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 河村 晃平
問合せ先責任者(役職名) 執行役員CAO コーポレート本部長 (氏名) 岡村 薫 (TEL) 03-6456-2296
定時株主総会開催予定日 2026年9月30日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2026年9月29日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期の連結業績(2025年7月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	3,764	22.4	262	987.4	100	—	56	—	67	35.7
2025年6月期	3,075	—	24	—	△63	—	△70	—	49	—

(注) 包括利益 2026年6月期 65百万円(32.6%) 2025年6月期 49百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年6月期	5.66	5.47	4.8	1.3	2.7
2025年6月期	4.59	4.43	4.5	△2.2	△2.1

(参考) 持分法投資損益 2026年6月期 —百万円 2025年6月期 —百万円

- (注) 1. 当社は、2024年6月期通期において連結財務諸表を作成していないため、2025年6月期通期の対前期増減率については記載しておりません。
2. 2026年6月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年6月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。
3. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+株式報酬費用+敷金償却費

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	5,744	1,967	29.4	139.32
2025年6月期	3,221	1,110	34.3	101.43

(参考) 自己資本 2026年6月期 1,691百万円 2025年6月期 1,105百万円

- (注) 2026年6月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年6月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	241	△1,593	2,148	1,825
2025年6月期	46	△1,343	1,344	1,029

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2027年6月期の連結業績予想（2026年7月1日～2027年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	9,533	153.2	892	239.6	503	400.0	357	529.3	303	350.3	25.03

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費＋株式報酬費用＋敷金償却費

※ 注記事項

- （1）期中における連結範囲の重要な変更：有
 新規 3社（社名） クラダシ・インベストメント匿名組合、株式会社Nestia、除外 1社（社名） - 株式会社中京電力

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年6月期	12,140,258株	2025年6月期	10,899,888株
2026年6月期	－株	2025年6月期	－株
2026年6月期	11,933,770株	2025年6月期	10,829,786株

（参考）個別業績の概要

1. 2026年6月期の個別業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	2,864	11.4	144	742.4	98	865.4	117	309.8
2025年6月期	2,570	△10.2	17	△19.2	10	△56.1	28	127.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期	9.87	9.55
2025年6月期	2.65	2.56

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	4,968	1,726	34.6	141.74
2025年6月期	2,893	1,089	37.5	99.50

（参考）自己資本 2026年6月期 1,720百万円 2025年6月期 1,084百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、景気は緩やかに回復している一方で、中東情勢の影響を注視する必要があります。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を引き続き注視し、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、ミッション「善いビジネスで 未来に実りを。」及びビジョン「日本一のインパクト企業グループへ」を掲げ、社会性・環境性・経済性を同時に満たす「ソーシャルグッド」なビジネスの追求を通じて、社会課題の解決と持続的な企業価値の向上に取り組んでおります。

中期経営計画（2025年6月期 - 2027年6月期）においては、「既存事業の深化」と「新規事業の探索」を成長戦略の柱として掲げており、こうした事業領域の拡大に伴い、当連結会計年度より、従来の食品プラットフォーム運営事業の単一セグメントから、「Food事業」及び「Energy事業」の2つの報告セグメント体制へ移行いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は3,764,455千円（前期比22.4%増）、営業利益は100,728千円（前期は営業損失63,817千円）、経常利益は56,744千円（前期は経常損失70,673千円）、親会社株主に帰属する当期純利益は67,487千円（前期比35.7%増）となりました。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの区分方法を変更しており、当連結会計年度の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<Food事業>

当セグメントは、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を中核に、問題なく消費できるにもかかわらず廃棄されてしまう商品を価値あるものへと転換する1.5次流通を創出し、社会貢献型ショッピングサイトとしての会員基盤の拡大に取り組んでおります。当連結会計年度におきましては、更なるユーザー体験の向上を目指したシステム及びアプリへの開発投資を継続するとともに、SNSを活用した広告宣伝活動を積極的に行い、新規会員の獲得及び既存会員の利用促進を推進いたしました。

グループ会社との連携面におきましては、前連結会計年度に子会社化した株式会社クロスエッジが運営する冷凍弁当宅配サービス「Dr. つるかめキッチン」、及び株式会社L'ATELIER de SHIORIが運営する料理教室事業が通期にわたり業績に寄与いたしました。「Kuradashi」との送客・商品連携を通じたグループシナジーの創出に努め、フードサプライチェーン全体でのフードロス削減と事業成長の加速に取り組みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は3,258,395千円（前期比5.9%増）、セグメント利益は231,105千円（前期比68.5%増）となりました。

<Energy事業>

当セグメントは、再生可能エネルギーの普及と電力系統の安定化という社会的要請を背景に、系統用蓄電池事業を「新規事業の探索」における新たな収益の柱と位置づけ、本格的な展開を進めております。当連結会計年度におきましては、栃木県小山市の系統用蓄電所の運用を開始いたしました。

事業領域の拡大面におきましては、2026年6月に株式会社中京電力を子会社化し、高圧・低圧の電力小売事業へ参入いたしました。さらに、辻・本郷 スマートアセット株式会社との合併により合同会社クラダシ・インベストメントを組成し、匿名組合出資及びアセット・マネジメントを通じた系統用蓄電所ファンドの組成・開発を進めるなど、事業基盤の構築に取り組みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は506,059千円、セグメント利益は121,179千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は5,744,394千円（前期比2,522,683千円増）となりました。主な内訳は、現金及び預金が1,825,719千円（前期比796,127千円増）、商品及び製品が108,786千円（前期比13,339千円減）、売掛金が374,519千円（前期比276,562千円増）、有形固定資産が1,305,242千円（前期比502,395千円増）、無形固定資産が1,264,384千円（前期比477,445千円増）、投資その他の資産が743,566千円（前期比561,244千円増）であります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は3,777,152千円（前期比1,665,664千円増）となりました。主な内訳は、長期借入金が1,408,838千円（前期比1,025,893千円増）、短期借入金が1,250,000千円（前期比308,353千円増）、1年内返済予定の長期借入金が437,022千円（前期比229,089千円増）、買掛金が252,910千円（前期比102,988千円増）、繰延税金負債が191,612千円（前期比147,076千円増）であります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は1,967,242千円（前期比857,018千円増）となりました。主な内訳は、資本剰余金が1,563,844千円（前期比525,963千円増）、利益剰余金が117,232千円（前期比67,487千円増）であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度と比べ796,127千円増加し、1,825,719千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は241,108千円（前連結会計年度は46,685千円の増加）となりました。これは主に、減価償却費103,408千円、税金等調整前当期純利益58,810千円、のれん償却額56,861千円、売上債権の増加額132,125千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1,593,502千円（前連結会計年度は1,343,455千円の減少）となりました。これは主に、出資金の払込による支出600,000千円、有形固定資産の取得による支出589,048千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出318,765千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は2,148,521千円（前連結会計年度は1,344,016千円の増加）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,439,000千円、株式の発行による収入513,479千円、長期借入金の返済による支出385,612千円、短期借入金の純増額310,000千円、非支配株主からの払込みによる収入271,700千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、ミッション「善いビジネスで未来に実りを。」及びビジョン「日本一のインパクト企業グループへ」のもと、社会性・環境性・経済性を同時に満たす「ソーシャルグッド」なビジネスの追求を通じて、社会課題の解決と持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

<Food事業>

ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を中核に、システム・アプリの改善やSNSを活用した販促による会員基盤の拡大、パートナー企業との連携強化による商品ラインナップの拡充に取り組み、「既存事業の深化」を進めてまいります。

また、2026年7月1日付で株式会社中村商事の株式を取得、2026年8月6日付で株式会社みとわの株式を取得しております。

<Energy事業>

系統用蓄電所ファンド組成を含む、系統用蓄電池事業の本格稼働に加え、電力小売事業（株式会社中京電力）を推進し、「新規事業の探索」による新たな収益の柱の確立を図ってまいります。

翌連結会計年度の連結業績予想につきましては、売上高9,533百万円、EBITDA892百万円、営業利益503百万円、経常利益357百万円、親会社株主に帰属する当期純利益303百万円を見込んでおります。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用については、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえたうえで、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,029,592	1,825,719
売掛金	97,956	374,519
商品及び製品	122,125	108,786
原材料及び貯蔵品	844	906
その他	199,083	121,269
流動資産合計	1,449,602	2,431,200
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	-	693,404
土地	-	80,000
建設仮勘定	792,800	512,665
その他（純額）	10,046	19,173
有形固定資産合計	802,846	1,305,242
無形固定資産		
のれん	493,731	526,853
顧客関連資産	125,700	542,637
ソフトウェア	144,346	137,496
ソフトウェア仮勘定	23,161	57,396
無形固定資産合計	786,939	1,264,384
投資その他の資産		
投資有価証券	101,386	-
出資金	301	599,936
繰延税金資産	67,751	78,561
その他	12,883	65,069
投資その他の資産合計	182,322	743,566
固定資産合計	1,772,108	3,313,193
資産合計	3,221,711	5,744,394

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	149,922	252,910
短期借入金	941,646	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	207,933	437,022
未払金	239,496	55,069
未払法人税等	2,468	23,791
契約負債	2,465	11,801
その他	140,075	146,106
流動負債合計	1,684,007	2,176,701
固定負債		
長期借入金	382,945	1,408,838
繰延税金負債	44,535	191,612
固定負債合計	427,480	1,600,450
負債合計	2,111,487	3,777,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,929	10,337
資本剰余金	1,037,881	1,563,844
利益剰余金	49,745	117,232
株主資本合計	1,105,556	1,691,415
新株予約権	4,667	5,671
非支配株主持分	-	270,154
純資産合計	1,110,223	1,967,242
負債純資産合計	3,221,711	5,744,394

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,075,886	3,764,455
売上原価	1,665,951	2,021,707
売上総利益	1,409,935	1,742,747
販売費及び一般管理費	1,473,752	1,642,019
営業利益又は営業損失(△)	△63,817	100,728
営業外収益		
受取利息	221	1,036
その他	1,589	978
営業外収益合計	1,810	2,014
営業外費用		
支払利息	8,606	30,478
株式交付費	-	4,937
支払手数料	-	10,000
その他	60	582
営業外費用合計	8,666	45,998
経常利益又は経常損失(△)	△70,673	56,744
特別利益		
負ののれん発生益	99,596	-
投資有価証券売却益	-	12,607
特別利益合計	99,596	12,607
特別損失		
M&A関連費用	-	10,542
特別損失合計	-	10,542
税金等調整前当期純利益	28,922	58,810
法人税、住民税及び事業税	4,121	2,569
法人税等調整額	△24,944	△9,700
法人税等合計	△20,822	△7,131
当期純利益	49,745	65,942
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	△1,545
親会社株主に帰属する当期純利益	49,745	67,487

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
当期純利益	49,745	65,942
包括利益	49,745	65,942
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	49,745	67,487
非支配株主に係る包括利益	-	△1,545

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	311,591	917,480	△189,120	1,039,951
当期変動額				
新株の発行				-
新株の発行(新株予約権の行使)	7,929	7,929		15,858
減資	△301,591	301,591		-
欠損填補		△189,120	189,120	-
親会社株主に帰属する当期純利益			49,745	49,745
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	△293,661	120,400	238,865	65,604
当期末残高	17,929	1,037,881	49,745	1,105,556

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	3,463	-	1,043,415
当期変動額			
新株の発行			-
新株の発行(新株予約権の行使)			15,858
減資			-
欠損填補			-
親会社株主に帰属する当期純利益			49,745
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,203	-	1,203
当期変動額合計	1,203	-	66,807
当期末残高	4,667	-	1,110,223

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	17,929	1,037,881	49,745	1,105,556
当期変動額				
新株の発行	256,739	256,739		513,479
新株の発行(新株予約権の行使)	2,445	2,445		4,891
減資	△266,777	266,777		-
欠損填補				-
親会社株主に帰属する当期純利益			67,487	67,487
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	△7,591	525,963	67,487	585,859
当期末残高	10,337	1,563,844	117,232	1,691,415

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	4,667	-	1,110,223
当期変動額			
新株の発行			513,479
新株の発行(新株予約権の行使)			4,891
減資			-
欠損填補			-
親会社株主に帰属する当期純利益			67,487
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,004	270,154	271,159
当期変動額合計	1,004	270,154	857,018
当期末残高	5,671	270,154	1,967,242

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	28,922	58,810
減価償却費	40,549	103,408
のれん償却額	44,884	56,861
受取利息及び受取配当金	△221	△1,037
支払利息	8,606	30,478
株式交付費	-	4,937
負ののれん発生益	△99,596	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△12,607
売上債権の増減額 (△は増加)	34,192	△132,125
棚卸資産の増減額 (△は増加)	42,883	13,277
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,326	45,692
その他の資産の増減額 (△は増加)	32,248	28,566
その他の負債の増減額 (△は減少)	△43,598	△8,523
その他	3,672	80,968
小計	71,218	268,705
利息及び配当金の受取額	221	1,037
利息の支払額	△8,606	△30,478
法人税等の支払額	△16,147	△21,506
法人税等の還付額	-	23,349
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,685	241,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△794,749	△589,048
無形固定資産の取得による支出	△65,919	△60,915
出資金の払込による支出	-	△600,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△482,787	△318,765
その他	-	△24,772
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,343,455	△1,593,502
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	940,000	310,000
長期借入れによる収入	630,000	1,439,000
長期借入金の返済による支出	△241,842	△385,612
株式の発行による収入	-	513,479
非支配株主からの払込みによる収入	-	271,700
ストックオプションの行使による収入	15,858	4,891
株式交付費による支出	-	△4,937
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,344,016	2,148,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	47,246	796,127
現金及び現金同等物の期首残高	982,345	1,029,592
現金及び現金同等物の期末残高	1,029,592	1,825,719

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために当社の取締役会に定期的に報告される対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントに関するサービスの種類

当社グループは、従来、事業を単一のセグメントとして管理しておりましたが、当連結会計年度よりEnergy事業を本格的に開始し、経営資源の配分及び業績の評価を事業区分別に行う体制へ移行したことから、報告セグメントを「Food事業」及び「Energy事業」の2区分としております。

「Food事業」は、フードロス削減ECプラットフォーム「Kuradashi」の運営を中核とし、フードロス削減に資する食品関連事業（食品等の企画・販売、冷凍弁当の宅配、料理関連サービス等）を行っております。

「Energy事業」は、系統用蓄電池を用いた電力市場取引、電力小売事業、及び系統用蓄電所ファンドの組成・運営等を行っております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度において、当社グループは食品プラットフォーム運営事業の単一セグメントでありましたが、当連結会計年度よりEnergy事業を本格的に開始し、経営資源の配分及び業績の評価を事業区分別に行う体制へ移行したことから、報告セグメントを「Food事業」及び「Energy事業」の2区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、当連結会計年度の区分方法により作り直した情報を記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針に準拠しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	Food事業	Energy事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,075,886	—	3,075,886	—	3,075,886
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,075,886	—	3,075,886	—	3,075,886
セグメント利益又は損失 (△)	137,177	—	137,177	△200,994	△63,817
セグメント資産	1,703,038	792,800	2,495,838	725,872	3,221,711
その他の項目					
減価償却費	39,306	—	39,306	1,243	40,549
のれん償却額	44,884	—	44,884	—	44,884
EBITDA (注) 1	222,296	—	222,296	△198,116	24,180

(注) 1. EBITDAは、セグメント利益に、減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用及び敷金償却費を加えた数値であります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△200,994千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額725,872千円は、全社資産及び未配賦資産であります。全社資産は、主に当社の現金及び預金、管理部門に係る資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額1,243千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) EBITDAの調整額△198,116千円は、上記(1)の全社費用△200,994千円に、上記(3)の全社資産に係る減価償却費1,243千円及び全社に係る株式報酬費用等1,635千円を加算したものであります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	Food事業	Energy事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,258,395	506,059	3,764,455	—	3,764,455
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,258,395	506,059	3,764,455	—	3,764,455
セグメント利益	231,105	121,179	352,284	△251,555	100,728
セグメント資産	1,196,664	3,219,975	4,416,640	1,327,754	5,744,394
その他の項目					
減価償却費	61,305	40,211	101,517	1,891	103,408
のれん償却額	53,861	2,999	56,861	—	56,861
EBITDA (注) 1	346,813	164,390	511,203	△248,279	262,924

(注) 1. EBITDAは、セグメント利益に、減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用及び敷金償却費を加えた数値であります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△251,555千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額1,327,754千円は、全社資産及び未配賦資産であります。全社資産は、主に当社の現金及び預金、管理部門に係る資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額1,891千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) EBITDAの調整額△248,279千円は、上記(1)の全社費用△251,555千円に、上記(3)の全社資産に係る減価償却費1,891千円及び全社に係る株式報酬費用等1,385千円を加算したものであります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	Food事業	Energy事業	全社・消去	合計
当期償却額	44,884	—	—	44,884
当期末残高	493,731	—	—	493,731

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：千円）

	Food事業	Energy事業	全社・消去	合計
当期償却額	53,861	2,999	—	56,861
当期末残高	439,869	86,984	—	526,853

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

「Food事業」において、負ののれん発生益99,596千円を計上しております。これは、2025年6月27日に株式会社L'ATELIER de SHIORIの株式を取得し、連結子会社としたことによるものであります。

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	101.43円	139.32円
1株当たり当期純利益	4.59円	5.66円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	4.43円	5.47円

(注) 1. 前連結会計年度の1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、当連結会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行ったことにより、取得原価の当初配分額の見直しの内容を反映させた後の金額であります。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	49,745	67,487
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	49,745	67,487
普通株式の期中平均株式数(株)	10,829,786	11,933,770
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	406,002	394,864
(うち新株予約権(株))	(406,002)	(394,864)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	1,110,223	1,967,242
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	4,667	275,826
(うち新株予約権(千円))	(4,667)	(5,671)
(うち非支配株主持分(千円))	—	(270,154)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,105,556	1,691,415
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,899,888	12,140,258

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2026年7月1日開催の取締役会において、下記のとおり、有限会社中村商事が営む酒類等販売事業(以下「対象事業」といいます。)を新設分割により承継する新設会社の全株式を取得し、子会社化すること(以下「本件株式取得」といいます。)について決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 株式の取得の理由

有限会社中村商事は1980年に創業し、群馬県館林市において、酒・飲料を中心とした小売事業を営んでおります。同社は40年以上にわたる事業を通じて、酒類・飲料メーカーや卸売事業者との強固な取引関係に基づく安定的な商品調達基盤を有しております。

本件株式取得により、当社は酒・飲料分野における調達網を新たに獲得し、「Kuradashi」で取り扱う商品カ

テゴリーの拡充と仕入れ機能の強化を実現できるものと考えております。あわせて、同社が北関東を中心に築いてきた地域に根差したリアル店舗および顧客基盤は、「地域×リアル店舗」という新たな販売チャネルとなり、フードロス削減対象商品をお届けする出口を多様化し、販売機会の最大化につなげてまいります。

以上より、本件株式取得は、当社の成長戦略の一環として事業成長加速へ寄与するものと判断いたしました。

2. 異動する子会社（新設会社）の概要

(1)	名称	株式会社中村商事	
(2)	所在地	群馬県館林市下早川田町708-2	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 中村 茂美	
(4)	事業内容	酒類等の販売事業	
(5)	資本金	1,000万円	
(6)	設立年月日	2026年6月16日	
(7)	大株主及び持株比率	有限会社中村商事 100.0%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。

3. 承継対象事業の概要

(1) 承継対象事業の内容

酒類等販売事業

(2) 承継事業の経営成績（2026年3月期）

売上高	2,608 百万円
-----	-----------

(3) 承継事業の資産、負債の項目及び金額（2026年3月期）

資産		負債	
項目	金額	項目	金額
流動資産	1,174 百万円	流動負債	229 百万円
固定資産	317 百万円	固定負債	1,160 百万円
資産合計	1,492 百万円	負債合計	1,390 百万円

4. 株式取得の相手先の概要

(1)	名称	有限会社中村商事
(2)	本店所在地	群馬県館林市下早川田町708-2
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 中村 茂美
(4)	事業内容	酒類・食料品等の小売事業及び発電・売電事業
(5)	資本金	1,000万円
(6)	設立年月日	1980年5月1日
(7)	純資産	2,365百万円（2026年3月期）
(8)	総資産	11,150百万円（2026年3月期）
(9)	大株主及び持分比率	中村 剛 100.0%

(10) 当社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関係当事者への該当状況	該当事項はありません。

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0.0%)
(2) 取得株式数	10,000株 (議決権の数：10,000個)
(3) 異動後の所有株式数	10,000株 (議決権の数：10,000個) (議決権所有割合：100.0%)

※取得価額については、当社の純資産の15%以上に相当する額となりますが、相手方の要請により、開示を控えさせていただきます。なお、外部の専門家によるデューデリジェンス及び株式価値算定の結果を踏まえ、公正妥当と考えられる金額により取得しております。

※本件にかかるアドバイザー費用は40百万円（概算）です。

※本件株式の取得に要する資金については、金融機関からの借入により充ちいたしました。

6. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年7月1日
(2) 契約締結日	2026年7月1日
(3) 株式譲渡実行日	2026年7月1日

(取得による企業結合)

当社は、2026年8月6日開催の取締役会において、下記のとおり、株式会社みとわ（以下「対象会社」といいます。）の発行済み株式の70%を取得し、子会社化すること（以下「本件株式取得」といいます。）について決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 株式の取得の理由

株式会社みとわは、1977年に群馬県桐生市において創業後、1983年に法人設立し、オリジナルギフトの企画・製造・卸売事業を営んでおります。同社は、大手卸売事業者を含む取引先との強固な関係と、商品企画・製造機能に基づき、地域密着の強みを生かして、45年以上にわたり安定的な事業を展開しております。

本件株式取得により、当社は新たにオリジナルギフトの企画機能とギフト卸売販路を獲得し、「Kuradashi」で取り扱う商品カテゴリーの拡充と、パートナー企業からの調達商材の販売手段の拡充、法人向けギフト事業への参入基盤を確立できるものと考えております。フードロス削減対象商品や規格外品を活用した「サステナブルギフト」の創出を通じて、当社のミッションに合致した新たな事業機会を開拓してまいります。

以上より、本件株式取得は、当社の成長戦略の一環として事業成長加速へ寄与するものと判断いたしました。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	株式会社みとわ
(2) 所在地	群馬県桐生市相生町三丁目502-4
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 星野 一行

(4) 事業内容	オリジナルギフトの企画・製造・卸売、 群馬県名産品カタログ販売、法人向け販促ノベルティ等	
(5) 資本金	1,000万円	
(6) 設立年月日	1983年8月22日（創業 1977年）	
(7) 大株主及び持株比率	星野 一行 100.0%	
(8) 上場会社と当該会社 との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。

3. 対象会社の経営成績及び財政状態（2025年12月期）

(1) 経営成績

売上高	1,037 百万円
営業利益	65 百万円
当期純利益	47 百万円

(2) 財政状態

資産		負債	
項目	金額	項目	金額
流動資産	338 百万円	流動負債	160 百万円
固定資産	129 百万円	固定負債	25 百万円
資産合計	467 百万円	負債合計	185 百万円

4. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	星野 一行	
(2) 住所	群馬県桐生市	
(3) 職業	株式会社みとわ 代表取締役	
(4) 当社と当該相手先との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関係当事者への該当状況	該当事項はありません。

※住所については相手方と守秘義務契約を締結しているため、開示を控えさせていただきます。

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0.0%)
(2) 取得株式数	140株 (議決権の数：140個)

(3) 異動後の所有株式数	140株 (議決権の数：140個) (議決権所有割合：70.0%)
---------------	--------------------------------------

※取得価額については、当社の純資産の15%以上に相当する額となりますが、相手方の要請により、開示を控えさせていただきます。なお、外部の専門家によるデューデリジェンス及び株式価値算定の結果を踏まえ、公正妥当と考えられる金額により取得しております。

※本件にかかるアドバイザー費用は35百万円（概算）です。

※本件株式の取得に要する資金については、自己資金を充当いたしました。

6. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年8月6日
(2) 契約締結日	2026年8月6日
(3) 株式譲渡実行日	2026年8月6日

(合弁事業に係るアセット・マネジメント契約及び匿名組合出資契約の締結)

2026年6月30日付「株式会社グリーンエナジー&カンパニーとの合弁事業の実施に向けた基本合意に関して」にてお知らせいたしました株式会社グリーンエナジー&カンパニー（以下「グリーンエナジー&カンパニー」といいます。）との合弁事業につきまして、本合弁事業の事業遂行を目的として設立された合同会社クラダシ・インベストメント2号（以下「本合同会社」といいます。）との間でアセット・マネジメント契約（以下「本AM契約」といいます。）を締結いたしました。

また、2026年8月12日に、本合同会社は、国内の系統用蓄電所の共同開発及び運営を目的とした匿名組合出資契約（以下「本出資契約」といいます。）を当社及びグリーンエナジー&カンパニーと締結いたしました。これにより両社が推進する合弁事業スキームが本格的に始動いたします。なお、当該匿名組合は当社の連結子会社となります。

本合同会社を通じて、国内の系統用蓄電池の普及・拡大を推進し、系統用蓄電所の共同開発及び運営を加速させてまいります。

1. 本合同会社（合同会社クラダシ・インベストメント2号）の概要

(1) 名称	合同会社クラダシ・インベストメント2号	
(2) 所在地	東京都品川区上大崎三丁目2番1号目黒センタービル5F	
(3) 代表者の役職・氏名	代表社員 一般社団法人インパクト・ファースト 職務執行者 稲葉孝史	
(4) 主な事業内容	1. 蓄電設備の設置、運用及び保守管理事業 2. 蓄電設備による電力の供給、販売、供給力の確保及び需給調整に関する取引 3. 前各号に掲げる事業に出資する組合の出資持分又は会社の株式若しくは持分の取得、保有及び処分 4. その他前各号に付随関連する一切の事業	
(5) 資本金	10万円	
(6) 設立年月日	2026年7月1日	
(7) 出資会社	一般社団法人インパクト・ファースト 100.0%	
(8) 当社と本合同会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社は本合同会社との間で本AM契約等を締結しています。

(9) 匿名組合出資比率	株式会社クラダシ 50.0% 株式会社グリーンエネルギー&カンパニー 50.0%
--------------	---

2. 本合同会社における系統用蓄電所の稼働予定一覧

案件名	出力/容量	受電予定日
静岡県蓄電所	2MW / 8MWh	受電済 (2026年6月)
島根県蓄電所	2MW / 8MWh	2027年1月 (予定)

3. 日程

(1) AM契約締結日	2026年8月12日
(2) 出資契約締結日	2026年8月12日
(3) 匿名組合出資実行日	2026年8月21日 (予定)